

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	砂川 正隆			実務 経験	無	職種					

授業概要

生理学を統括し理解を深めます。

到達目標

生理学は健康や病気を理解するために欠かせない基礎的学問である。生理学が専門的に扱うのは、神経生理学や筋肉生理学のほか呼吸・消化・循環・排出・生殖などの分野である。将来、外傷・障害の治療に当たる柔道整復師を目指す学生にとっては必要不可欠な知識である。基本的な生理学の知識を習得することは医療資格の取得を目指すものとして必須である。

授業方法

教科書を中心に授業を行う。まず、人体を構成する各要素に分解してその個々の機能を追求し、さらに、その機能がどのようなしくみ（機序）で発現してくるかを探る。そして、最終的にはそれらを総合して、人体全体としての機能やその発現機序を考えようとする。生理学を学ぶことで体の機能を理解し、様々な運動器外傷への対応のための知識の土台を形成することを目標にしている。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

教科書は「生理学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。

回数	授業計画
第1回	生理学の基礎 血液の生理学
第2回	循環の生理学
第3回	呼吸の生理学

第4回	消化と吸収
第5回	栄養と代謝 体温とその調節
第6回	尿の生成と排泄
第7回	内分泌系の機能
第8回	7週までの振り返りと確認演習
第9回	生殖
第10回	骨の生理学
第11回	体液の生理学
第12回	神経の基本的機能 神経系の機能
第13回	筋肉の機能 感覚の生理学
第14回	13週までの振り返りと確認演習
第15回	まとめ